

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 4 年 10 月 15 日

事業所名 空（スカイ）

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			コロナ禍の中、利用者の様子を見て相談室を開放する場合があります。
	2	職員の配置数は適切である	7			
	3	事業所の設備等は、子ども達が動きやすく活動しやすいように整っているか	7			広く使えるように、活動ごとに物の異動をしています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7			PDCAサイクルを見直しながら、OODA（ウーダ）ループを導入し、時間をかけすぎることより、継続的に高速で回すことで、成果に繋がっていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			ホームページを見直し、新規に作成しブログを取り入れ、保護者の声を導入していく事を10月後半より実施します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7			
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			コロナが静まった時に、必要な研修等は行っています。令和4年度12月にも外部から講師を招いて実施する予定です。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			勿論の項目であり、今後、より一層保護者様の悩み質問を聞き入れながら、デイで回答ができる範囲で努力していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			バイアスのない評価をして行く努力をしています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			個々に責任をもって立案し関係者が集まって特性に応じたねらいをもち、それに基づいて作成しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			時には固定化も必要であるが、必ず特性に応じてプログラムは作成しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7			休日は開所していないが、長期休暇での課題は、普段行えない支援も多く取り入れる工夫をしています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7			勿論、それぞれのねらいのもとに計画を立てて実行しているが、その中でも細かく分けて特化しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			
関係機関や保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っている	7			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3			まず保護者様から詳しくお聞きし、保護者様よりドクターに直接聞いてほしいと言われたらお聞きするようにしています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3			関係職員については、情報共有や総合理解に努めている（送迎職員無回答4名）
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3			必要な内容のみ情報提供をしています。（送迎職員無回答4名）
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2			この時期、必要不可欠な内容のみ、オンラインにて研修研修を受けています。（無回答5名）
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		7		時期的に、相手の事業所にも迷惑がかかることは控えています。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	2	5		オンラインで紹介があれば、積極的に参加するようにしています。
保護者への説明責任等	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	3		専門性の高い職員が、他の職員に指導を行っています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	3		保護者様に対しては超丁寧に説明をしています。職員については、読んで質問ができるように、タイムカード近くにおいてあります。質問はいつでも受け付けています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	4		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			
	35	個人情報に十分注意している	7			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		7		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7			保護者様には、契約時にしっかり説明をしています。職員にたいしては、送迎後の車中の確認を怠らないように、マニュアル追加（テレビでの幼児の置き去り事件後）、マニュアルという言葉だけに取まらず肝に銘じて実行に協力要請をしています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			アレルギーのあるお子さんについては、保護者様がドクターから指示を受けられたことを、事業所につたえいただき、しっかり対応をしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			ヒヤリハットを書くことによって責任の重大さとしっかり振り返るようにしてもらい、怠った場合は、書類提出をしてもらっています。